

## （2）第5回羽村市長期総合計画審議会における質問に対する市の回答

### 羽村市の将来人口推計の結果について

委員名	質問内容	市からの回答
成沢委員	P241～242 の転入先と転出先について 転入に比べて転出が多い。特に青梅市とあきる野市。 転出理由、転入理由を知りたい。アンケートなど。	令和2年度に実施した羽村市転入者アンケート調査結果では、羽村市に転入するきっかけは、「仕事の都合（就職・転職・転勤・定年退職・通勤の利便性）」が27.9%、次いで「住宅の都合（広さ・間取り・設備・家賃・借家契約の更新・持ち家の購入等）」（18.7%）、「結婚・離婚等」（15.4%）となっています。 また、転入先として、青梅市等を転入先の候補としながらも、羽村市を選んだ主な理由は、以下のとおりです。 <羽村市を選んだ主な理由> ・水道代や家賃などが良かった。 ・一番会社に近かった。 ・静かで通勤しやすかった。 ・他地域の物件と比較し、住環境がよかった。 ・夫婦ともに、お互いの実家からの距離が同じくらいだった。 ・実家の近くだった。 ・売っていた土地周辺の環境が気に入った。 ・良い物件が羽村市にちょうど良く見つかった。 ・職場から近く、良い家賃のアパートを見つけた。 ・水道料金が安い。 ・お水がとてもおいしい。 ・買い物が便利。 ・近くに必要とするお店が多い。 ・電車の本数が多い。 （第六次羽村市長期総合計画 基礎調査報告書 P206～212 参照） なお、転出理由等を把握するアンケートは実施していません。
平野委員	議事内容の説明3ページに、「2060年に5万人の人口を維持していくことを人口の展望として掲げて～」とある。 ①5万人が目標値である理由 ②その5万人の理想的年齢構成バランス この2点について説明をお願いしたい。	平成27年9月に、羽村市長期人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生計画を策定した際には、羽村市の人口が大きく減少していくことが見込まれる中で、平成3年に市制施行を迎えた羽村市が将来にわたってさまざまな活力を維持していくためには、羽村が町から市へ発展する際の要件であった人口規模5万人を東京都内の自治体として維持していくことが必要であると考え、計画に掲げたものであります。 理想的な年齢構成バランスということではありませんが、その際の人口想定では、令和42（2060）年の総人口は、50,940人であり、年少人口（0～14歳）は8,021人（15.8%）、生産年齢人口（15～64歳）は27,575人（54.1%）、老年人口（65歳以上）は15,344（30.1%）を見込んでいました。